

道徳科学習指導案

令和元年 9月10日(火)
第3学年

- 1 主題名 広い心で 【 B相互理解、寛容 】
- 2 資料名 「わたしだって」
- 3 本時のねらい 広い心を持ち、相手の失敗を許すことができる。
- 4 本時の展開

	学習活動	○主な発問 ◎中心発問・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆評価
導入 (五分)	1. 失敗について考える。	○友達の失敗が許せなかったことはありますか。 ・許してあげようと思うけれど、悲しかった。 ・わざとじゃないと分かっているけれど、辛くなった。 ・少し腹が立ったけれど、我慢した。	・Yes, No だけでなく、嫌な気持ちとはどんな気持ちだったのかを問い返して整理し、その後友達との関係について問う。
展開 (三十分)	2. 「わたしだって」を読み、寛容な心について話し合う。 ・話の内容をおさえる。 ・けい子の気持ちを考える。 ・けい子とお姉さんの違いを考える。 ・自分がけい子の立場だったら本当に許せるのか考える。	○けい子の気持ちが分かる文に線を引きながら聞きましょう。 ○ずっとだまされたままのけい子はどんなことを考えていたのでしょうか。 ・もう直せない。どうしよう。嫌だ。 ・謝っているから許してあげたいけれど、できない。 ・泣きたい。 ◎けい子とお姉さんの違いは何だろう。 ・お姉さんは悪くないのに先に謝っている。 ・お姉さんはすぐ許していると思う。 ・けい子はまだ許せていなかった。 ・失敗はだれにでもあるものだ。 ○お姉さんはなぜ謝っているんだろう。 ○自分だったら本当にゆるせるかな。(ゆさぶり) ・嫌かも…ゆるせないかも。 ・人によるかな。すぐ謝ったら許せる。 ○お互い嫌な気持ちにならないためにどうしたらいいのかな。	・共に不注意で被害を受けたことを確認する。 ・けい子が失敗をする側に立ったことで気づいたことを考えさせる。 ・失敗は誰にでもあることで、それをとがめても仕方がないことから、相手を許したほうが互いにすっきりすることに気づかせる。 ・お姉さんが謝っていることとおさむが謝っていることの違いを理解させる。
終末 (十分)	3. 失敗を許す心について考える。 4. 今日学んだことを振り返る。	○相手の失敗を許せる心とはどんな心でしょうか。 ・自分も相手の立場に立って考えられる心。 ・思いやりをもてる心。 ・友だちのことを大切に思う心。	○相手の立場に立って考えられるということを広さで表すことにより、心が広いという言葉の意味を理解させる。 ☆失敗を許すことが今後の人間関係を維持するために大切なことが理解できたか。(ノート)

5 本時の評価

失敗は誰にでもあるから、許す心も必要であることが分かったか。